

使用料の増額を見込み、譲与税、交付金も予算額が過剰にならないように配慮したものと なっています。

また、公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、旧いきいきプラザと旧老人福祉センターの除去に要する予算を計上し、計画を実効性のあるものになっている。

本年度予算案は、限られた財源の中、持続可能な白石市を作り上げていくためには課題を先送りしないという、市長はじめ、市職員の強い意気込みと収支のバランスを考慮した内容であり、市民生活の発展と地域経済の活性化を図るための効果が大きいと期待できるものとなっている。

白石きぼう学園の開校、白石市立病院のスタート、(仮称)白石スマートインターチェンジと周辺整備事業の本格化など、本市の今後を占う「分水嶺(ぶんすいれい)の予算」であり、「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現に向けた予算である。以上の理由から、第34号議案に賛成である。

◎第35号議案・令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算

反対 伊藤 勝美

現在の本市の経済状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も大きく、さらに昨今の急激な物価の高騰もあり、市民生活は大変厳しくなっている。

昨年12月定例会で、国民健康保険税の改正による値上げ案が可否同数の上、議長裁決で可決された。

今回、税率改正後の予算案が上程されているが、このことにより国保に加入している被保険者の方々は、経済的に大きな影響を受けることになる。なぜなら、本市の国保加入者の構成をみれば、その多くは会社を定年になった方や退職された方々、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や昨今の物価高騰の影響を大きく受けていると思われる自営業者や農業者、年金で生活をされている

方など、比較的所得の低い方々となっているからである。このような方々のことを考え、現在の経済状況等を鑑みると、本案を認めることは到底できないものとして考えざるを得ない。

以上の理由から、第35号議案に反対である。

賛成 佐藤 秀行

本市の国民健康保険税は、平成21年度に増額改定をして以来、令和4年度まで13年もの間、税率を据え置き国保事業を運営してきた。

しかしながら昨今、医療の高度化や被保険者の高齢化などに伴い、医療費の支出が増加し、財政調整基金が減少するなど大変厳しい財政運営となっている。

令和5年度の白石市国民健康保険特別会計は、昨年10月に被保険者・保険医・議員などから構成する白石市国民健康保険運営協議会から答申を受けた「白石市国民健康保険財

政の健全化に向けた方針」に従い、令和4年12月定例会で可決・改正した白石市国民健康保険条例に基づき編成された予算案である。

条例改正により税率は増加しているが、引き続き所得の基準により、2割・5割・7割の軽減が図られるなど、低所得者にも配慮した予算案となっている。

また、一般会計からの繰入金には、保険税の軽減を図ることを目的に、保険基盤安定繰入金や財政安定化支援事業繰入金に加え、令和5年度予算には会計年度任用職員の給与や事務経費にかかる職員給与費等繰入金新たに計上されている。

以上のことから、昨今の厳しい経済状況は承知しているが、国保財政の健全性を保ち、被保険者が安心して生活を送り、将来においても健康を守る上で、今回の予算案は適正なものである。

以上の理由から第35号議案に賛成である。

6月定例会は、6月5日(月) 午前10:00 開会予定です

定例会は、市の予算や条例など、市民の皆さんに深く関わりのある議案が審議されます。本会議の様子はインターネット(YouTube)でライブ配信しています。また、これまでの録画映像もご覧になれます。

<2月定例会・全員協議会>

●傍聴者のべ人数 13人 ●ライブ配信・録画視聴回数 2,414回

